事例検討会 2026 のご案内

1．事例検討会当日までの流れ

① 対象：高等教育機関における障害学生支援担当者

② お申し込み：**2027 年 1 月 4 日（月）締め切り** ※定員 25 名（応募者多数の場合、抽選）

https://forms.cloud.microsoft/r/qVXahjEXdb

※応募の際は、以下にご紹介している SV のご専門もご参考に、事例をご検討ください。

③ 抽選結果（参加確定）メールの配信：2027 年 1 月 8 日（金）頃を予定

④ 事前課題としての事例提出：2027 年 2 月 5 日（金）締め切り

- 参加確定メールと共に事例の書式を送付します。事例を作成し、期限までに提出ください。
- 当日に取り上げる事例は SV が選定いたします。当日取り上げられなかった事例については、後日 SV のコメントをフィードバックいたします。

※ 当日は、守秘義務誓約書に必ずご署名ください。

2．事例検討会について

日　時：2027 年 2 月 16 日（火）13 時 30 分～17 時 00 分

場　所：筑波大学東京キャンパス 118 講義室集合

参加費：無料

内　容：（事例検討部分のタイムスケジュールは SV によります）

① 開会挨拶・各部屋へ移動（10 分）

② 事例検討（190 分）

・自己紹介

・事例説明と質疑応答

・SV からのコメント及びディスカッション

＊適宜休憩＊

③ 移動後閉会・事後アンケートの協力依頼（10 分）

※懇親会開催予定　17 時 30 分ぐらいから

【スーパーバイザー（SV）】

■ 岸川　加奈子 氏：昭和女子大学全学共通教育センター 学生相談室 専任講師

臨床心理士、公認心理師、特別支援教育士。神戸女学院大学にて博士（人間科学）を取得。2010 年より学生相談室の非常勤カウンセラーとして複数大学で勤務後、2018 年に障害学生支援担当となった。私立大学・国立大学それぞれ 3 年間、合理的配慮申請に関わる業務に携わったのち、現在は学生相談室室長として、学生とのカウンセリングや教職員・保護者へのコンサルテーションを行っている。障害学生支援・学生相談の共同・連携を意識しながら、最近は支援者支援について研究している。

■ 岩田　淳子　氏：成蹊大学 文学部（教職課程）特別任用教授・学生サポートセンター学生相談室専任カウンセラー

公認心理師、臨床心理士、大学カウンセラー。専門は臨床心理学、学生相談、発達障害。公立障害乳幼児通園施設心理職、教育相談所カウンセラー等を経て、2004 年より成蹊大学文学部専任講師として着任。准教授、教授を経て、現職。一般教養科目や教職科目を担当するとともに、学生サポートセンター学生相談室（入職当時は学生相談室）カウンセラーを兼務してきた。学生・家族・教職員から認知され、必要なときに気軽に利用でき、頼りになる学生相談機関をつくること、そして、学生相談と障害学生支援の架け橋となることを、自らの役割と考え実践してきた。

■ 土橋　恵美子 氏：同志社大学 スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援センター チーフコーディネーター

手話通訳者、公認心理師。2002 年より同志社大学障がい学生支援部署に手話通訳のできるコーディネーターとして勤務。2011 年同志社大学総合政策科学研究科ソーシャルイノベーションコース前期課程修了。2011 年～2012 年に筑波技術大学客員研究員。現在同志社大学にて講師を務め「支援する・支援される」をキーワードに障がい体験やディスカッションを取り入れた授業を行う。
ひと呼吸#10 https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/heap/wp-content/uploads/2022/02/hitokokyu_10.pdf

■ 望月　直人　氏：大阪大学 ウェルネス推進機構 健康支援相談センター 相談支援部門 准教授

公認心理師、臨床発達心理士。関西大学大学院博士後期課程満期退学。ペアレント・トレーニングやペアレント・メンターなど、神経発達症（児者）の家族支援の体制整備について、自治体の活動を通して数多くの支援実践経験を有する。また、大阪大学における合理的配慮の対応フローを構築し、長きに渡り、合理的配慮の検討・提供に携わっている。近年は、エデュケーショナル・マルトリートメント（教育虐待）の研究を通して、地域でのインクルーシブな風土醸成にかかわっている。

■ 佐々木 銀河 氏：筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 次長／人間系 准教授

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）障害学生支援委員会専門部会委員も務める。専門は発達障害、自閉スペクトラム症、障害学生支援、知的障害、応用行動分析、ICT、支援技術（Assistive Technology）。